

日本文化大学 令和元年度決算の概要

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1. 令和元年度の概況

【以下、百万円以下切捨て記載】

当年度は当初の予定通り、令和元年11月に新2号館が完成しております。

当年度は上記新2号館新築等に係る残りの建設資金を支払い、前年度に支出した資金と併せて有形固定資産が16億19百万円計上されました。一方で、当該建設資金の支払いにより預金が減少しました。総資産全体としては35百万円の増加となっております。

2. 事業活動収支計算書の状況（別表1参照）

当年度の教育活動による収入は10億91百万円で、前年度比86百万円増加した一方で、教育活動による支出が11億22百万円となり、前年度比1億24百万円減少したため、教育活動収支差額は30百万円の支出超過になりました。支出超過額は前年度と比較して大幅に減少しており、本学としては今後の大学運営においては引続き健全性を保っているものと考えています。

教育活動外収入としては、資産運用による受取利息1百万円を計上しています。

特別支出は、ありません。

基本金組入は、新2号館に伴う有形固定資産の組入れ等により合計4億92百万円となりました。この結果、当年度の最終収支は5億21百万円の不足となりますが、この不足額は前年度からの繰越金で充当しています。

3. 貸借対照表について（別表2参照）

【資産の部】

有形固定資産の当年度における増加の主な要因は、新2号館の建設に伴うもので、前年度に比べて建物が14億19百万円増加しています。

これに、当年度の減価償却費を減算した結果、有形固定資産全体では7億91百万円の増加となっております。

特定資産については、第2号基本金引当特定資産は新2号館の完成により従来の積立額7億円を取り崩しましたが、新たに将来の校舎等の建替えに備えるため、1億円を積み立てています。一方、償却資産引当特定資産は、新2号館等の建設により減価償却費が増加したため、3億7百万円増加しています。結果として、特定資産総額では前年度比3億円減少しました。

その他の固定資産については、新2号館等の建設資金に充当するため、預金を取り崩しており、別途積立固定預金が1億50百万円減少しました。

流動資産は、預金の一部を新2号館等の建設資金に充当したため、流動資産総額としては、2億95百万円減少しております。

【負債の部】

固定負債は退職給与引当金のみで、退職金の支払いに備えるため、年度末要支給額の100%を計上しています。

流動負債は来年度の新入生の増加により、前受金が前年度に比べて42百万円増加しております。また、有形固定資産に係る未払金の計上などにより未払金が34百万円増加しており、流動負債総額では、72百万円増加しています。

【純資産の部】

有形固定資産の取得により、第1号基本金は 10億64百万円増加しました。第2号基本金は、新2号館の完成に伴う取り崩し及び新たな建設資金準備のための積立があり、6億円減少しています。結果として、基本金総額では 4億92百万円増加しています。

別表1 事業活動収支計算書

単位：千円

教育活動収支	事業活動	科目	金額
		収入の活動	学生生徒等納付金
		手数料	25,056
		雑収入	7,001
		教育活動収入計	1,091,803
	支出の活動	人件費	528,634
		教育研究経費	479,174
		管理経費	114,584
		教育活動支出計	1,122,393
		教育活動収支差額	△ 30,590
教育活動外収支	事業活動	科目	金額
		収入の活動	受取利息・配当金
		教育活動外収入計	1,824
	支出の活動	科目	金額
		教育活動外支出計	0
		教育活動外収支差額	1,824
		経常収支差額	△ 28,765
特別収支	事業活動	科目	金額
		収入の活動	特別収入計
	支出の活動	科目	金額
		資産処分差額	0
		特別支出計	0
		特別収支差額	0
		基本金組入前当年度収支差額	△ 28,765
		基本金組入額合計	△ 492,526
		当年度収支差額	△ 521,292
		前年度繰越収支差額	19,158,466
		翌年度繰越収支差額	18,637,174

別表2 貸借対照表

単位：千円

資産の部	
科目	金額
固定資産	31,544,036
有形固定資産	10,548,489
特定資産	3,187,745
その他の固定資産	17,807,800
流動資産	1,887,310
資産の部合計	33,431,346
負債の部	
科目	金額
固定負債	147,526
流動負債	982,865
負債の部合計	1,130,392
純資産の部	
科目	金額
基本金	13,663,780
第1号基本金	13,484,780
第2号基本金	100,000
第4号基本金	79,000
繰越収支差額	18,637,174
翌年度繰越収支差額	18,637,174
純資産の部合計	32,300,954
負債及び純資産の部合計	33,431,346

(注) 各別表の金額は、各項目の金額について千円未満を切捨て表示しているため、合計が計算上一致しない場合があります。